

**外国人就労を広げた新在留資格「特定技能」
 今年3月末時点で総数3,987人にとどまる**

外国人就労の幅を広げた新しい在留資格「特定技能」による在留外国人数が、今年3月末時点で3,987人であったとの速報値が出入国在留管理庁から発表されました。同庁は、人数が伸び悩んだ原因として、日本で働く技能実習生の4分の3近くを占めるベトナムと中国で、「特定技能」の要件を満たした人を適切に送り出す仕組みが整っていなかったとしています。

特定技能は人手不足が深刻な14分野の産業を対象に、事実上外国人の単純労働を認める制度として、2019年4月1日にスタートしました。政府が制度開始から5年間で最大約34万5千人、初年度で最大4万人程度を見込みましたが、ほど遠い結果となりました。

現在、コロナ禍により、送り出す国別に行われる試験が延期になるといった支障も出ており、停滞する経済活動への懸念を含め見通しが立たない状況となっています。

〔図1〕主な国籍・地域別・分野別 特定技能1号在留外国人人数
 （単位：人）

	ベトナム	中国	インドネシア	その他
総数〔全国〕	3,987	2,316	331	456
介護	56	3	3	26
ビルクリーニング	27	19	-	8
素形材産業	437	207	61	78
産業機械製造	428	231	36	113
電気電子関連産業	184	113	21	9
建設	267	200	29	16
造船船舶用工業	156	24	29	40
自動車整備	37	6	-	31
航空	-	-	-	-
宿泊	19	7	3	6
農業	686	304	65	88
漁業	42	23	3	16
飲食物品製造	1,402	1,042	57	64
外食業	246	137	24	3

コロナ禍の受検遅延や帰国困難による技能実習生への出入国在留管理庁の特別措置

コロナ禍の受検遅延により技能実習が円滑に行えない事案や技能実習後の帰国困難等について、出入国在留管理庁から様々な救済措置が公表されています。当組合では、技能実習生の就労の意思等を尊重しながら適切な手続を行ってまいります。

〈第1号技能実習の終了〉

◎一般的な1号から2号への移行



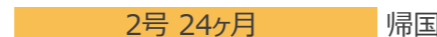
●基礎級・初級を受検できず2号へ移行できない事案



↑ 特定活動(就労可) 4ヶ月

〈第2号技能実習の終了〉

◎一般的な2号終了〔3号移行予定なし又は3号対象外職種〕



●2号終了後、帰国できない事案〔就労を希望する場合〕



↑ 特定活動(就労可) 6ヶ月

●2号終了後、帰国できない事案〔就労を希望しない場合〕



↑ 特定活動(就労不可) 6ヶ月

●随時3級・専門級を受検できず3号に移行できない事案



↑ 1年以内に1ヶ月以上の帰国義務〔通算期間から除外可〕

◎一般的な3号開始



↑ 1ヶ月以上の帰国義務〔開始前〕

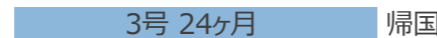
●開始前に帰国せず3号開始



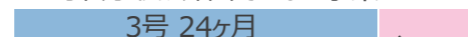
↑ 1年以内に1ヶ月以上の帰国義務〔通算期間から除外可〕

〈第3号技能実習の終了〉

◎一般的な3号終了



●3号終了後、帰国できない事案



↑ 特定活動(就労可) 6ヶ月

〈第2号・第3号技能実習の終了〉

●特定技能へ移行できるが手続が間に合わない事案



↑ 特定活動(就労可) 4ヶ月

〈経営困難による他企業への移籍〉

●特定技能対象職種の他企業へ移籍 ☆雇用維持支援政策



↑ 特定活動(就労可) 12ヶ月
 ※ 特定技能への移行準備として許可され、期間中に要件を満たさなかった場合は帰国しなければなりません。

●同一職種の他企業で技能実習を継続
 エコ・プロジェクト協同組合までご相談ください。

**母国で待機する技能実習生は？
 コロナの影響は短期的！？中国送出機関に聞く**

当組合の技能実習生受け入れ国は、中国・インドネシア・ベトナムの3ヶ国です。中国は新型コロナウイルス感染症の発端とされる国ですが目下のところ感染増加の勢いは収まっています。インドネシアでは脆弱な医療体制もあって現在でも感染が収まっています。一方ベトナムでは、徹底した政府の政策によって死亡者ゼロを維持しています。各国の感染状況〔7/6時点〕には大きな違いがあります。

国	感染者〔人〕	死者〔人〕	回復者〔人〕
日本	20,534	990	17,708
中国全土	83,553	4,634	78,516
インドネシア	63,749	3,137	29,105
ベトナム	355	0	340

4月以降、日本政府の入国制限措置〔VISA発給停止〕や外国の航空便欠航等により日本に入国できず、母国で待機している技能実習生は、当組合内では3ヶ国を合計して153人に上ります。

そこで、3ヶ国の送出機関とインターネットでつなぎ、待機する技能実習生の様子や日本では知りえない貴重な情報等をリモート収集いたしました。

送出機関 煙台国際経済技術合作集团有限公司
所在地 中国・山東省煙台市
待機者数 27人／送出し実績567人〔当組合〕

Interviewee 日本事業四公司 総経理：朴 敏哲 氏
 Interviewer 監理部：孔 慶元／広報部：和田 壮司

Q. コロナ禍の現状と国内の経済状況は？

◎中国全土では

新型コロナウイルスはほぼ収束していますが、感染を抑えるため、他国と同じく渡航者の入国制限や入国後の行動制限などの措置をとっています。感染者が多い地域では、引き続き不要不急の外出が禁止されています。

また、6月上旬に北京市の食品卸売市場で集団感染が再確認されたことから関係者20万人にPCR検査を行いました。現在の感染者数は数名ですので、抑え込みが成功した傾向にあります。

◎煙台市では

4月上旬から本日〔7/5〕まで、感染者ゼロが続いています。6月までに、幼稚園を含めて、全ての学校が再開され、現在は通常の生活に戻っています。当社の教育センターは、6月10日に煙台市教育局より再開審査を受けて合格したため、7月8日から段階的に授業を再開することになりました。

◎中国経済への影響は

特に小売業と観光業への深刻な影響が明らかになっています。観光業は、各地の景勝地・観光名所が再開されましたが、観光客の健康と安全を確保するため、人口密度を極力抑えることから、「実名

制予約+時間別予約+入場制限」方式を導入しています。

中国政府では、コロナが中国経済に与える影響は短期的だと予想しています。

◎出入国規制について

日本政府が、ベトナム・タイを含めた4ヶ国との間で出入国制限を緩和しますが、私たちが常に法務省の情報、在留資格の有効期間の情報等を注視しています。対象国を順次拡大すると思いますが、中国が次に緩和されることを期待しています。

Q. 待機者(技能実習生)の状況は？

◎遠隔での教育に切り替え

新型コロナウイルスが発生した1月頃、当社は、「煙台国際日本向け技能実習生への手紙」を配布し、彼らに正しい感染予防の知識を教えるとともに、日本へ渡航する意思を再確認しました。1月下旬に春節を迎えたため、全ての待機者を帰省させたところ、コロナが拡散し国内の移動制限が取られたため、2月3日からオンライン教育に切り替えました。

事前教育を終えた待機者は、故郷でアルバイト等しながら生活を維持しており、日本への入国を待ち望んでいます。



Q. 待機者に対して特に気を配っていることは？

◎きめ細かい配慮を

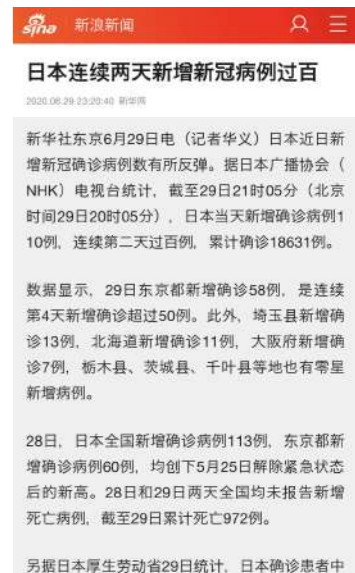
待機者から相談があった場合は、積極的に対応するつもりです。今のところ、貴組合の待機者ではコロナが原因の辞退者は一人もいません。センターで教育中の待機者に対しては、毎日2回の体温測定とともに、体調不良時は担任に報告するよう指示しています。また、教育終了後は、仕事をしながら待機するよう指示し、居住地や就業先を報告させ、公共の場所へ行く時は、事前に健康コード〔通行証〕を登録することを徹底しています。

Q. 日本のコロナ禍を、中国ではどう見る？

◎日本人のマナーの高さに関心

日本からマスクや防護服などが送られてきたことをマスコミが報道されたことで、多くの中国人は日本に感謝の気持ちを持っています。

その後、日本も緊急事態宣言が出され、イベントや学校活動などを自粛しました。中国では、「日本政府と日本国民の努力で、短時間で緊急事態宣言の解除されたことは、日本人の行動の質の高さを改めて感じた」との報道がありました。こうした信頼性からか、中国のマスコミは、日本の報道情報を引用しています。
 〔裏面へつづく〕



母国で待機する技能実習生は？ インドネシア・ベトナムは日本行きを心待ちに！

送出機関	LPK ZEN
所在地	インドネシア・西ジャワ州チカラン市／ボゴール市
待機者数	53人／送出し実績359人(当組合)

Interviewee エリパムカス 氏
Interviewer 広報部：和田 壮司／監理部：アディティア N.F

Q. コロナ禍の現状と国内の経済状況は？

◎コロナの感染者数
現在のインドネシアにおける感染者情報は、日本で報道されているとおりです。インドネシアでは、地方行政区(州)が自区の感染者数等を発表するのは許されず、中央政府のみが集約された情報を発表しています。

◎感染者が多い理由とは
発生当初は首都ジャカルタ周辺で感染者が増えたため、移動制限などで拡大を抑えていました。しかし、政府は、ラマダン(断食月)直後の6月5日に、経済活動を優先させるため、コロナと共に生活する「ニューノーマル(新しい日常)政策」を出し、移動制限を緩和しました。ラマダン後の大型連休に合わせ、ジャカルタにいる出稼ぎ労働者が一斉に帰省したために、コロナ感染がインドネシア全土に広がってしまいました。

◎脆弱な医療体制
インドネシア政府は財政が苦しいため、政府のみで対応することは難しく、裕福な人たちが資金を出し合い、医療品やマスク等を提供しています。貧しい人は病院へも行けず、PCR検査もできないので、亡くなった原因がコロナかどうか分からない状態です。

◎廃業が多い産業も
観光客がいない観光業や外食産業では、経営難によって廃業が増えています。製造業はほとんど休業していますが、受注があるところは一部稼働しています。事務系は在宅勤務が多いようです。学校は地域によっては今年の12月まで閉鎖される予定です。いずれも、働けない人たちが多く、生活は大変だと思います。

◎危機意識のない人たち
一番怖いと思うのは、コロナに対する危機意識のない「にんげん」です。インドネシアでは自身がコロナ感染を経験していないため、コロナは存在しないと信じる人たちが大勢いました。彼らは、マスク着用や手洗い等の感染予防にも無頓着で、政府の指示にも従わずがままでした。その後、感染者数が激増したため、ようやく意識が変わり、すべての人が感染予防をするようになりました。入店時の検温は今では当たり前になっています。

Q. 待機者(技能実習生)の状況は？

◎全員が自宅待機
ZENには現在約90人の待機者がおり、全員自宅待機をしています。当社も事務担当者のみ週に1日出勤している状況です。待機者とのコンタクトは担任が週に3回オンラインで面談をしています。今後、

入国日が決まり次第、感染予防をしながら当社の教室で勉強を再開する予定です。皆仕事がなく、アルバイトもできないため、実家で面倒をみてもらっています。



Q. 待機者に対して特に気を配っていることは？

◎モチベーションの高い実習生たち
「いつ日本へ入国できるようになるのか」と時々聞かれます。日本での技能実習に対するモチベーションは変わらず高いと感じています。せっかく日本へ行くチャンスを手にしたのに、ここで諦めたらもったいないと彼らは思っているはずです。

◎棄権者ゼロ
技能実習への意欲がなくなった待機者は一人もいません。もし、そのようなことを言われたら、私たちは、「日本へ行くのをやめてどうするの？」と尋ねるでしょう。彼らには、日本へ行く気持ちしかないことを、私たちはよく理解しているので心配していません。キャンセル者に代わる他の候補者は大勢います。

Q. 日本のコロナ禍を、インドネシアではどう見る？

◎清潔な国民性
日本は緊急事態宣言を発表してから、感染者数が少なくなりました。日本人は習慣的に、手洗いやうがい等をしているので、感染者数が少ないのだと思います。今年開催予定だった東京オリンピックを延期したことは、感染者数をこれ以上増やさないための対策として、適切だったと思います。

Q. 日本側に要望することは？

◎信頼できる技能実習制度
ZENでは、技能実習希望者を募集する際、職業高等専門学校卒の卒業生たちに呼び掛けをしています。コロナが拡大する前には、多くの学生が日本の技能実習に応募がありました。インドネシア経済は悪くなる一方なので、今まで以上に多くの学生たちが応募してくると思います。

日本の技能実習制度はしっかり法整備され、確実に技能を身に付けることができます。また、事件・犯罪が少ない安全な国ですので、他の技能実習の受入れ国より人気があります。

現在インドネシアでは、多くの感染者がいますが、日本政府から入国規制の緩和条件が公表されれば、すぐにでもクリアするための体制にするつもりです。PCR検査は、日本政府の結核スクリーニングとともに、ZENが健康診断で取り扱っている総合病院での対応が可能です。

最後になりますが、日本の受け入れ企業さんや組合にご迷惑をかけないよう、感染予防は徹底して待機者を送り出しますので、どうぞご安心ください。

送出機関	LOD人材開発株式会社
所在地	ベトナム・ハノイ市
待機者数	73人／送出し実績444人(当組合)

Interviewee ダン チャン タン 氏(当組合駐在員)
Interviewer 広報部：和田 壮司／監理部：ブー ゴック フン

Q. コロナ禍の現状と国内の経済状況は？

◎徹底したコロナ対策
現在のベトナムにおける感染者情報は355人です。今年1月下旬に国内初の感染者が判明してからベトナム政府は徹底した隔離政策を実施しました。人口約9,500万人中、100万人ほどの住民を隔離したといわれています。マンションで感染者が出ると、感染していない住民も含めその建物ごと封鎖され、最低2週間は外出禁止となり、その間の食事はデリバリーのみとなります。その後、住民全員がPCR検査で陰性にならなければ外出は認められません。

◎早い時期に学校を閉鎖
2月初めから4月まで幼稚園から高校は閉鎖され、生徒は自宅でオンライン授業を受けました。会社はテレワーク等をして人との接触を控え、外出を制限していました。

ただし、飲食関係のお店は、休業せず営業していました。
◎普段通りの日常へ
現在は長期間新規感染者数が出ていないことから、外出制限等もなくなり、コロナ発生前の日常生活に戻りました。小中高校も再開し、街に活気も出て、朝の通勤スタイルも見られます。ただし、会社によっては3割ほどがテレワークを続けています。

Q. 待機者(技能実習生)の状況は？

◎帰省して待機
LODには現在約1,000人の待機者がおり、そのうち日本語教育が終わった4割にあたる約400人が帰省して待機しています。毎朝8時から昼の12時までオンライン授業を通して復習をしています。授業は1クラス約20人の担任制で、帰省後も同じ先生が担当しています。皆日本へ行くために、一生懸命勉強していますが、中には日本へ入国できる日はいつか、と不安に思っている待機者やその家族もいます。

Q. 待機者に対して特に気を配っていることは？

◎定期的なオリエンテーションの実施
私たちは、待機者に対して、不安にならないように定期的にオリエンテーションをしています。日本の現状と感染症に対する予防策、日本への入国予想時期、日本企業の生産状況、日越間での協議事項等、様々な情報を提供しています。

待機者の家族には、本人が日本へ行くことができるまで私たちがサポートすると伝えてあります。もし、技能実習をあきらめようとする人がいれば、私たちが本人の実家を尋ね、説明するようにしています。



Q. 日本のコロナ禍を、ベトナムではどう見る？

◎先進国なのになぜ
日本の状況を常に気にしているので、毎日日本の新規感染者数をチェックしています。日本では、いまだにコロナ禍が収まっておらず、新規感染者数が毎日出ていることに驚いています。清潔な国なのにどうして感染者数が増加しているのか、私には理解できません。感染者数が多いと日本に入国できないので、早く新規感染者数が減ることを願っています。

Q. 技能実習生を日本に送出せるのはいつ？

◎9月頃を想定
日本政府がベトナム、タイを含めた4ヶ国との間で、出入国制限を緩和する調整に入っています。現在、ベトナム国内に日本への渡航待機者が約8,000人いますが、7月からベトナム人のビジネス関係者に限って60～70人が日本へ入国予定と聞いています。
技能実習生が渡航できるのは現時点では難しく、9月頃ではないかと思います。1日約1,000人がVISAの申請をしているので、待機者の数がどんどん増えています。
具体的にいつから入国できるかは断言できません。今後の日本の状況によっては、さらに先になるかもしれません。私たちは、日本に入国ができる状態になったらすぐに送り出したいと強く願っています。

Q. 日本側に要望することは？

◎不安と期待の狭間で
コロナ禍により、日本経済が大きな打撃を受けているのは理解していますが、技能実習ができるのか不安に思っています。日本へ入国後、技能実習を確実に終わらせて欲しいというのが、私たちの願いです。
ベトナムでは、徹底的に隔離措置を行い、長期間新規感染者数がない安全な国です。日本へ出国する際には、PCR検査を行いますので、安心して技能実習生たちを迎え入れてください。

待 機 者 教育施設で学習中 2020年8～10月入国予定

NGUYEN PHUONG THAO さん／LE VAN MINH さん
LE THI HA さん／NGUYEN SON NAM さん／他2名

Q. LODでの生活はどう？

ベトナムでは感染症が収まったので、普段通りの生活と勉強をしています。仲間がたくさんいるので、お互い励まし合うことができ、ここでの生活は楽しいです。LODは、感染症対策がしっかりしているので、わたしたちも安心してあります。なるべく早く日本へ入国できることを願っています。

Q. 技能実習へのモチベーションに変化は？

コロナの前と後では、モチベーションは変わっていません。日本へ入国したいという気持ちは100%です。早く日本へ入国し、技能実習を行いたいです。

